

# (熊谷市) 記者クラブ取材情報

事業の名称等 「星川あおぞら市」オープン

1. 実施日時等 平成23年5月22日(日) 9:00オープン
2. 会場・主催地 熊谷市星川二丁目84番地 地先 お祭り広場
3. 主催者・関係者 主催者:熊谷市 協力:熊谷青果市場  
出店団体 熊谷青果市場青果商組合 星川あおぞら朝市 代表 堀口 幸夫  
こうなん農産加工倶楽部「なご味」 代表 宇治川 文子  
おおさと工房 代表 福田 ハツ  
道の駅「めぬま」 (有)メロード 社長 大峠 有子
4. 事業内容 毎週日曜日 朝8時から 星川に「あおぞら市」がオープンします。  
朝市: 8時頃~売り切れじまい 熊谷青果商組合(八百屋さん)が熊谷青果市場から仕入れた季節に応じた新鮮な青果物を販売する。  
昼市: 10時頃~売り切れじまい こうなん農産加工倶楽部「なごみ」、おおさと工房、メロードが交替で出店し、まんじゅう、うどんなどの特産品を販売する。  
夕市: 不定期開催 15時頃~19時頃 まちづくりに積極的な市内の飲食店が星川屋台村を復活させる。  
オープン日の5月22日(日)のみ9時からオープニングセレモニーを実施した後、売り出しとなる。スローガンは「日本を元気に、熊谷を元気に、まちなかを元気に」  
オープン日にはイベントとして青果物の抽選会、売り出し、新熊谷B級グルメ「熊谷ホルどん」無料試食会、星川屋台の復活が予定されている。  
また、売上の一部を東日本大震災オール熊谷自立支援ネットワークへ寄付するとともに茨城、福島産などの野菜コーナーを設けるなど被災地への応援も行う予定。
5. 目的・理由 高齢者をはじめとする買い物弱者の利便性の向上と、星川を中心とする中心市街地の賑わいを復活させるため、ニーズの高い生鮮野菜を中心とした「市」を開設する。
6. 経緯・経過 星川はかつて屋台が並び、また、彫刻や広場などはまちなかのシンボルとなっているが、シャッターを閉める店が多く、かつてのにぎわいが薄れており、にぎわいを取り戻すため、昨年秋には商店街による星川でのますつり大会、屋台村復活、また、新春もちつき大会など新しい気運が盛り上がっているところである。そこで、さらなるにぎわいの創出のため、また買い物弱者対策という新たな視点も組み込み、青果物を販売する朝市の実施について出店団体を模索していたところ熊谷青果市場及び熊谷青果商組合の協力を得られ、昼市、夕市まで1日を通しての「あおぞら市」へ発展したものである。

7. 影響・効果   ・ 中心市街地の賑わい創出   ・ 買い物利便性の向上  
・ 市内特産品のPR   ・ 新鮮野菜のPR   ・ 地域の交流の場

8. この事業の実施による特記事項   八百屋、また製造者の対面販売により、商品説明や調理の仕方など販売のプロとのやりとりを楽しみながら買ってもらうなど大型スーパーとの差別化を図る。また、先にオープンした「地産市場かまくら」や地元商店街とともにまちなかに人を呼び戻すための協力をしていく。

(1) 県内の状況

ア. 県内で初めて   イ. 県内で   番目   小川町など他市にも事例あり

(2) 他市が実施している事業に比べて本市の特色   イベント的なものではなく、毎週実施することで、一過性のものでなく買い物の場としての定着を目指している。

・ 他市と同じ

※ 資料の有無 ( 有 ・ ( 無 ) )

担当課   商業観光課

中心市街地活性化担当副参事

担当者   森田 博明

連絡先   TEL   048-524-1111   内 5 4 5